



フルマはキズナで
できている。

AISAN INDUSTRY RECRUIT GUIDE





キズナがあるから。
 なんだって。
 乗り越えられる。

1人じゃどんなにがんばったってできないことも、

力を合わせればやり遂げられる。

学校生活で、そんな経験、ありませんか？

社会人だって、同じです。

世界に誇れるクルマをつくるなんて、

1人じゃとても不可能だけど、

先輩や上司、同期とのキズナがあれば可能になる。

そしてそのキズナは、あなた自身が壁を乗り越え、

成長するための力にもなります。

Aisanでの活躍の道は、技能職と学園生の2コース。

あなたに合った道で、キズナを築き、支えられながら、

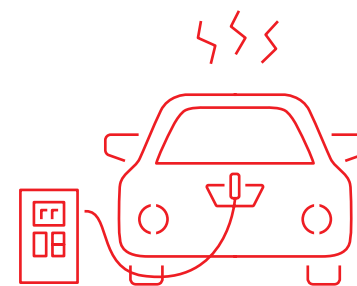
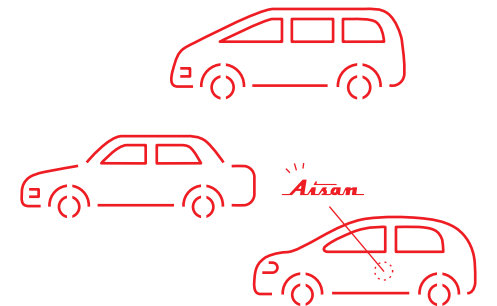
今は想像もつかないようなことができる

自分になれる場所があります。

AISAN's 3points

Point 01 3台に1台。
 世界のクルマに
 Aisan製品。

愛三工業という社名を聞いて、「知ってる!」と言う人は少ないでしょう。当然です。私たちの製品はクルマの中の見えないところに組み込まれてしまっているからです。でも、自動車業界では広く知られています。Aisanの製品は、実に3台に1台の割合で、クルマに搭載されています。それも日本だけでなく、世界中のクルマを合わせた中で。よく見かける国産車にも、日本ではちょっと珍しい輸入車にも、Aisan製品が載っているのです。

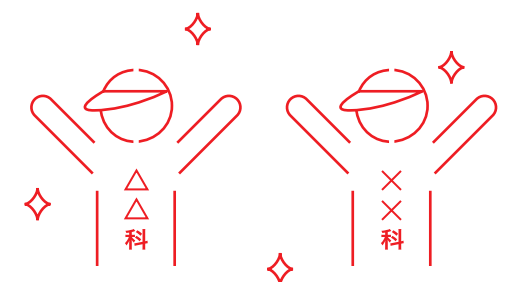


Point 02 電気自動車や
 FCVも
 走らせています。

Aisanの製品は、「クルマを走らせる」ために、なくてはならないもの。エンジンにガソリンを送る“燃料ポンプ”や、空気量を調節する“スロットルボデー”、排出ガスをエンジンに戻して燃え残りを減らす“EGRバルブ”、などなど。最近は電気自動車 (EV) や水素燃料電池車 (FCV) といった次世代モビリティの普及が進んでいますが、それらに向けた製品も、培った技術を活用して、生み出しています。

Point 03 普通科出身者も、
 モノづくりの
 主役になれる!

工場の仕事と聞くと、「主役になれるのは、高校や専門の機械や電気、自動車系の学科を出た人でしょ!」と思うかもしれませんが、もちろんそれらの知識があれば、役に立ちます。でも、普通科や文系学科の出身者も、Aisanではバリバリ活躍しています。中には、「モノづくりがしてみたい」と入社し、同期の中でトップクラスのスゴ腕技能者として頭角を現した人も。「やってみたい!」という気持ちこそが、何より大切な資質です。





リーダーとして任される分、達成感も大きい！

高校時代、バレーボール部にいた私の場合、事務の仕事だと退屈しちゃいそうで（笑）。それよりも工場で体を動かす仕事がしくて、Aisanを選びました。私の担当は、この会社の主力製品の一つ、スロットルボデーの組立工程。私はライン*のリーダーを任されていて、2人のメンバーと協力して仕事を進めています。同じ製造ラインで1日に何種類もつくるので、その順番を決めたり、部品を運んでくる部署に指示を出したり、完成品を台車に載せて運んだり。トラブルが起きたら、設備保全スタッフを呼ぶのも私の役割。自分で作業するよりも仕事の種類が増えたけど、その分、達成感もすごく大きいです！

*ライン…工場の中で、生産設備がズラッと並ぶ作業場所。

元気をもらえて、一緒に楽しめる仲間がいる。

リーダーになってから、人との関わりも増えました。班長や、部品を運んでくれる担当の人ともやりとりするようになったのが、私には楽しい！困ったときも、隣のラインのリーダーが、少しでも私のラインの作業が進むよう助けてくれるんです。責任は大きくなって、1人じゃないから、本当に心強いです。職場には女性の後輩が多くて仲がいいので、仕事の指示も伝えやすいし、女性の先輩とは、一緒にランチを食べたり、ライブに行ったり…趣味もすごく合うんです。こんな信頼関係があるから、仕事がやりやすいし、毎日、元気をもらえますね。

ぶっちゃけTALK

慣れない夜勤に苦勞しました。

ただの夜ふかしとは違って、夜中の仕事って、眠くなるんですね。ガマンしても、どんどんまぶたが重～く閉じていく…。ライン外になる前の、作業者のときは、よく叱られました。でも、先輩が「眠いときは呼んでね」と言ってくれて、顔を洗いに行かせてもらったりしました。今は夜勤に合った睡眠サイクルを見つけましたよ！

① 1日のスケジュール
()内は夜勤の場合

- 08:30 (21:00) ● 始業
朝礼後、製造ラインの点検をして、1日につくる製品の機種や数量を確認。生産が始まったら、部品や製品の運搬や、完成品チェックなどをします。
- 10:00 (23:00) ● 休憩 (10分)
トイレ休憩や、同僚との雑談で、ホッと一息。
- 12:15 (01:00) ● 昼食
仲のいい先輩とおしゃべりしながら食べます。
- 13:00 (01:45) ● 業務再開
全体に目を配り、設備の異常や不良品発生を見つけたら、機械を停めて専門部署の人を呼んで対処します。
- 15:00 (04:00) ● 休憩 (10分)
- 17:20 (05:50) ● 終業
仕事が終わる前に、反対番の人への連絡事項をノートに記入。

— 残業がある場合 —

- 17:20 (05:50) ● 休憩 (10分)
- 19:20 (07:50) ● 終業



エンジンを、目標どおりの性能に仕上げる。

ECU（車載コンピュータ）のプログラムを使って、試験室内のエンジンを回し、燃費や回転が狙ったとおりの性能になっているかを確認するのが、私の仕事です。プラグに点火するタイミングや、噴射する燃料の量のわずかな違いで、クルマの走りはガラリと変わるもの。最初のうちは異常な振動が起きたり、燃費も悪かったりするのを、粘り強く解決していきます。点火タイミングを制御する数値をほんの少し変えただけで、振動が激減するなど、思いどおりに操れたときはうれしいですよ！テストコースで車両全体のデータを採取する仕事にも、早く挑戦したいですね。

仕事中も、休憩時間も、クルマの話ばかり。

父が自分のクルマをカスタムしたり、レース観戦に連れて行ってくれたりした影響で、私も気づけばクルマ好きに。工業高校の自動車科から、専門学校に進んで整備士をめざしました。Aisanに入社したのは、世に出る前のクルマに携われると知ったから。周囲の先輩たちもクルマ好きの人が多くて、毎日、一緒に仕事ができるのは、すごく楽しいし刺激になります。基本、ずっとクルマの話をしていますよ。「こんな車種が出るよね」とか、「じゃあこんなエンジンのテストが来るね」とか。仕事とプライベートの境目がなくらいです（笑）

ぶっちゃけTALK

“クルマ好き”が条件の仕事！？

試験課の仕事は、クルマに興味がないと厳しいかもしれません。と言うのも、プログラムの数字だけが相手じゃなく、実際の空気の流れや燃焼といった現象をイメージできないといけなから。しかも毎回、経験のないことが起きるので、好きじゃないとツライかも…。逆にクルマ好きなら、どんどん知識を増やせて楽しいですよ！

① 1日のスケジュール

- 08:00 ● 始業
ミーティングの後、試験室にセットしたエンジンや装置を点検したら、機器を立ち上げて試験スタート。数値を入力しては、エンジンを回して、データを集めます。
- 12:00 ● 昼食
社員食堂で職場の先輩たちと一緒に。
- 13:00 ● 試験開始
今日の午後は、エンジンの車両搭載試験で起きた、センサ不具合の再現実験。こんな仕事も、新しい知識が増えるチャンスです。
- 先輩に相談
実験をする中で、分からないことを先輩に聞きに行く。経験豊富な先輩たちは、車の知識も半端じゃない！
- 17:00 ● 終業

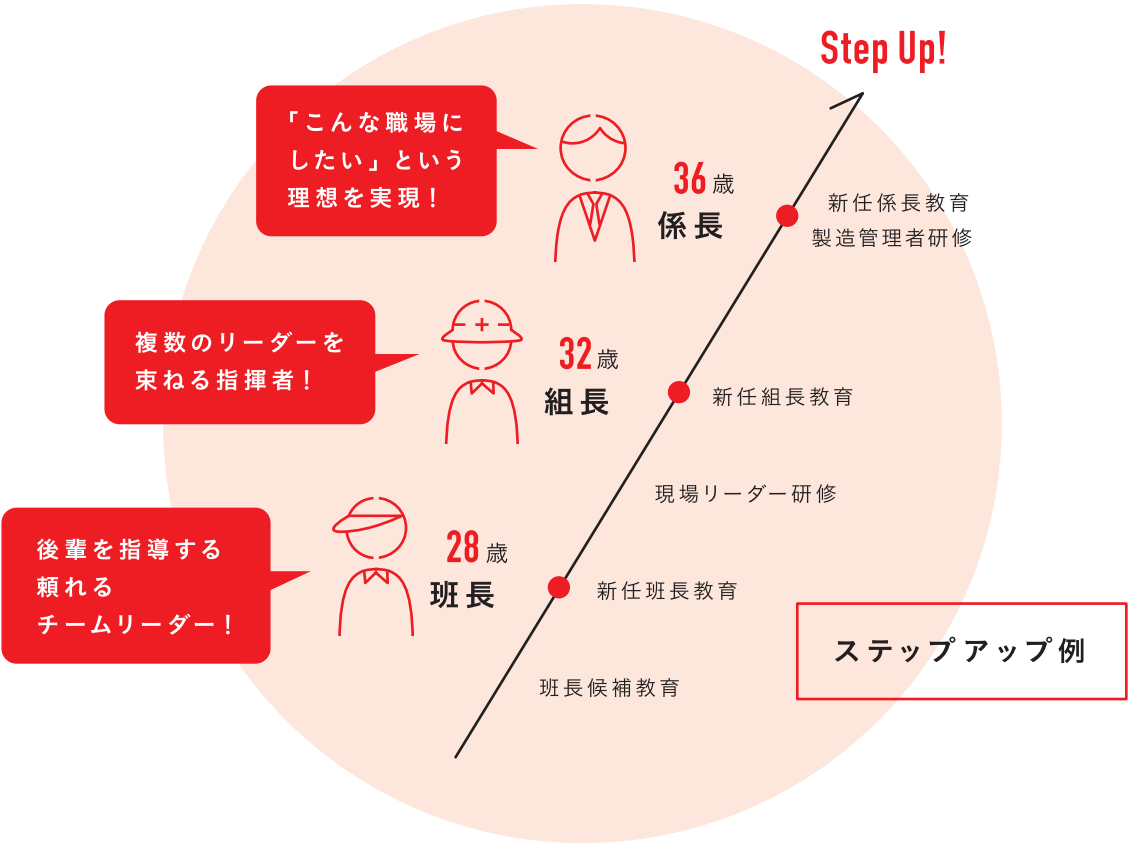
— 残業がある場合 —

- 18:00 ● 終業

Career step

誰もが成長を続けてほしい。
思いがカタチになった
キャリアプラン。

誰もが一歩ずつ着実に成長していけるように、「入社何年目（何歳）で、どの職級・役職にステップアップするか」という目安の時期を定め、計画的な教育を用意しています。



資格取得を
会社全体でサポート。



- | | | |
|----------------|------------------|---------------|
| 国家技能検定 | ガス溶接
作業者 | 低圧電気
取扱作業者 |
| 産業用ロボット
取扱者 | 危険物取扱者
乙種 第4類 | 英語 (TOEIC) |

知識や技術の証である資格を取得して、よりレベルの高い仕事に挑戦してほしい。そして、自分の身につく一生の財産を手に入れてほしい。だから Aisanでは、資格取得を全面的にサポートしています。講習で取れる資格に関しては、職場の上司の推薦があれば、業務時間内に受講してOK。海外への赴任や出張のある職場では、英語教育も用意しています。



Benefits

仕事以外でも
たくさんの仲間とつながれる。

自社施設“アイサンスポーツセンター”で行われるスポーツ大会に、地域貢献のボランティア、運動部・文化部の部活動。豊富なイベントは、部署や世代を超えてキズナを深めるチャンスです。

Events

イベント



Off time

みんなで楽しく



Cheering

みんなで応援



AISAN Campus Information

一生のキズナを育みながら、
未来のリーダーをめざそう。

■ 愛三学園とは

未来の
リーダー候補として
学ぶ1年間。



学園長のぶっちゃけTALK

困難を越えたら、
リーダーの余裕が身につく！

将来、現場のリーダーとして活躍したい人のための、社内の学校“愛三学園”。高校卒業後の1年間、給料をもらいながら学びます。定員20人の少人数教育で、機械工学や電気工学、安全衛生、品質管理といった専門知識と、旋盤・フライス盤、ロボット操作などの実技を習得します*。そして合宿や体育大会などの行事や、日々のトレーニングで心身を鍛え、リーダーシップを磨きます。

一般入社の社員との最大の違いは、卒業生の間に生まれる、強いキズナ。それがずっと続くよう、会社としても手厚くサポートします。卒業後2年目と6年目には研修があり、久しぶりに再会するお互いの姿が刺激に。毎年開かれる卒業生の会“愛養会”では、先輩や後輩とのつながりができ、仕事で困ったときも職場を越えて助け合えます。

この先40年以上続く、長い長い仕事人生。せっかくなら、いちばん成長につながる道を選びませんか。女性の卒業生も活躍中です。

*全体での教育の後、機械系機械加工科と電気・電子系電気機器科に分かれます。

正直に言って、学園の指導は、高校よりも厳しいです。でも私たちが厳しく言うのは、あいさつをするとか、時間を守るといった、社会人としての基本。リーダーとして余裕でできるようになってほしいから、小さなことも見逃さず指導します。リーダーシップが自然に取れるまでに成長した学園生は、みんな笑顔で卒業していきますよ！

活躍の場

製造リーダー候補のほか、
保全・検査などの
“技能のスペシャリスト”の道も。

学園卒者は、全員が各職場のリーダー候補です。製造部門の他、半数以上が、設備の保全や製品試験の部門に“技能のスペシャリスト”として配属。活躍の場は広がります。

製造のプロ	新製品の試験製作のプロ
	現場でのものづくりのプロ
検査のプロ	測定器管理のプロ
	品質を守るプロ
設備のプロ	設備製作のプロ
	設備メンテナンスのプロ

1日のスケジュール

- 08:00
学科教育
- 11:45
昼休憩
- 12:45
実技教育
- 17:00
体育



年間行事予定

4~6月	7~9月
・入社式 ・あいさつ運動 ・合宿研修 ・県訓練生オリエンテーリング大会	・県訓練生弁論大会 ・ふれあい祭り(ボランティア) ・初期消火競技大会 ・全豊田訓練生総合競技大会 ・闊歩訓練
10~12月	1~3月
・県訓練生体験発表会 ・大府市産業文化祭り(ボランティア) ・生産工程見学研修 ・県訓練生文化展 ・海外研修 ・もちつき大会	・実業団駅伝(応援) ・技能照査(学科・実技) ・修了実習(AGこま対戦) ・生産実習 ・修了式



技能五輪にチャレンジ！

人にしかできない匠の技能を、
私が受け継いで後輩へ。

モノづくり技能で日本一を競う“技能五輪”。私は旋盤のAisan代表選手として、入賞をめざしています。製品づくりではなく、そのためのトレーニングが私の毎日の仕事です。愛知県の一次・二次予選、そして全国の本選に向けて、1年がかり。コーチであるベテラン社員や定年退職した元社員という、大先輩方の指導を受けながら、複雑な形の加工をきわめて高い精度で、しかも時間内で仕上げる練習を重ねます。ソフトボール経験者の私は、目標があるとがんばれるタイプ。「人にしかできない加工のノウハウを先輩から受け継いで、将来のAisanの基盤にしてほしい」という、会社からの期待も力になります。高校は普通科だったけど、Aisanで初めて触れた旋盤は、考えた通りの形ができるのがおもしろくて大好きになりました。もっともっと技能を磨き、後輩にも伝えていきます。



2017年入社
普通科出身
山田 純菜



競い合いながらも助け合い、
成長を実感できた。

私が学園にいたのは、もうずいぶん昔です(笑)。それでも同期20人で1年間、刺激し合いながら学んだ当時のことはよく覚えています。工業高校時代は電子工学科だったので、旋盤を使う機械加工は、どれも初めてのことばかり。機械科出身者に追いつきたい一心で必死でしたが、おもしろかったですよ。最初はなかなか思いどおりかないのが、ひたすら練習するうちに上達していくんですから。仲間とは、「このやり方をすれば、もっとピカピカに磨けるよ」などと、教えてもらったり教えたりの助け合い。実技試験の点数が発表されると、「もっと高得点を出したい!」とやる気に火が着きましたね。学ぶことは多かったけど、楽しかった印象しかありません。

学園の経験と人脈が、
リーダーとしての財産に。

学園卒業後は、キャニスターやエンジンバルブといった製品を加工する設備の保全を担当しています。1000以上もの機械のうち、一つでも故障すれば、製造が止まってしまう。そうならないよう、日々の点検や予防をするほか、故障時には原因を調査し、一刻も早く修理します。初めて自分1人で、修理の方法を工夫してすばやく復旧させ、現場作業者に「ありがとう」と言われたうれしさは、今も忘れられません。学園の学びのおかげで、そんな喜びを早く味わえたほか、班長になったときも自然とリーダーシップが取れました。25人のメンバーを率いる係長になった今、何よりありがたいのが、同窓会“愛養会”で生まれたキズナ。世代も職場も超えて、部品の貸し借りや相談ができる安心感は、私の一生ものの財産です。

ぶっちゃけTALK

深く考えずに学園に
入りましたが…

愛三学園に入ったのは、高校の先生に勧められたことがきっかけ。「技術が身につくならいいかな」と、深く考えずに決めました。でも、入ってよかった!技術だけでなく、「いずれリーダーになる」という意識をその時期から持てたことは、本当に大きい。選んで後悔はしないはずですよ。



スタートダッシュを
切るために学園へ。

高校は普通科でしたので、学生では学ぶ事のできない会社に必要な知識、技術の習得をしたいという思いで学園という道を選択しました。また、将来リーダー的な存在になれる可能性があり自分のスキルアップにつながると感じました。辛い事も有りましたが、気の合う仲間達と絆を結ぶ事ができ貴重な時間を過ごせました。今でも大切な仲間です。また、配属先は学園卒の人ばかりで先輩の学園時代の話の聞いたりし、職場にもすぐになじむことができたと感じています。また、各職場に同期入社の方たちがおり困ったときにはお互い助け合って仕事をしています。このように同期や世代を超えたつながりをもてるのが学園卒業生のメリットであり、業務をスムーズに進めることができます。

国内で習得した技術を、
世界に伝えていく。

学園卒業後の配属先は、設備保全。学園で身に付けた旋盤、治工具仕上げ、ロボット操作、プログラムの知識を基礎として、その後さらなる高みを目指すことができるようになっていきました。国内で経験を積んだ上で現在では、海外赴任先で現地従業員に保全業務を教えています。設備が止まらず動き続けるように点検、交換についてレクチャーし、ときには一緒に作業します。作業に時間がかかるのならばどのようにして時間短縮ができるのか日々現地従業員と共に考え、現地従業員の育成を行っています。日本からの情報は、欠かさず現地従業員に展開するようにしています。自分で壁をつくらず自ら進んで行動することで、現地の人たちの成長と自分の成長を実感できます。これが大きなやりがいです。

ぶっちゃけTALK

英語での会話に
苦労しました。

学生時代はまったく英語の勉強をせず、赴任した時が初めての海外だったため、現地従業員とコミュニケーションがとれませんでした。当初は現地従業員に「仕事の邪魔をするな」と言われた経験もありますが、「負けるか!!!」という思いから言葉ではなく自分の技術力を見せました。今では、多少英語で会話ができ、現地従業員にも信頼してもらえるようになりました。

Aisan



愛三工業 HP

愛三工業株式会社

〒474-8588 愛知県大府市共和町一丁目1番地の1

URL <https://www.aisan-ind.co.jp/>